

## 送配電網建設事業



本事業により建設されたリンピオ変電所

## [ 借款概要 ]

承諾額/実行額	8,800百万円 / 8,721百万円
借款契約調印	1985年11月
借款契約条件	金利4.75%、返済25年（据置7年）
貸付完了	1990年11月

## [ 事業概要 ]

イタイプ水力発電所とアスンシオン首都圏を結ぶ基幹送電系統の新增設、及びパラナ川右岸のアルト・パラナ地帯への送変電施設の拡充を行うことにより、電力供給を拡充するもの。

## [ 評価結果 ]

本事業は、パラグアイ政府がブラジルとの協力により建設した世界最大級のイタイプ水力発電所からの電力供給のため、首都アスンシオンまでの基幹送電系統の4回線目となる220kV送電線（321km）を拡充するものであり、工事は1990年5月に完成した。

本事業により、イタイプ発電所からアスンシオンへの送電電力量は1991年の約300GWhから1995年には643GWhへと増加し、首都圏への安定的な電力供給に貢献した。その後も1996年にパラグアイ電力公社（ANDE）の自己資金により5回線目が建設され、2000年の送電電力量は913GWhまで大幅に増加している。

一方、アルト・パラナ地方では、本事業により変電所2カ所を建設し、米州開発銀行の融資により配電網が整備された結果、同地方への電力供給は1991年の8.6GWhから2000年の81.9GWhまで10倍近くに増加した。

なお、実施機関であるANDEは、維持管理のための技術力や人員配置に問題は見られないが、今後、電力料金の見直しを含めた財務面の改善が課題とされている。